

【草花の部屋】

ユウゲシヨウ（アカバナ科マツヨイグサ属 *Oenothera rosea*）

和名：ユウゲシヨウ(夕化粧) **別名**：アカバナユウゲシヨウ(赤花夕化粧)

英名：rose evening primrose

フトモモ目 多年草

原産地：南米から北米南部

花言葉：臆病

花色：桃、白



← 写真-1 ユウゲシヨウ

撮影日：2020年05月13日

撮影場所：大和郡山市郊外にて

撮影者：M さん

↘ 写真-2 ユウゲシヨウの花

撮影日：2020年05月13日

撮影場所：大和郡山市郊外にて

撮影者：M さん



← 写真-3 ユウゲシヨウの蕾

撮影日：2020年05月13日

撮影場所：大和郡山市郊外にて

撮影者：M さん



← 写真-4 ユウゲショウの葉(表)

撮影日：2020年05月13日

採取場所：大和郡山市郊外にて

撮影者：Mさん

↘ 写真-5 ユウゲショウの葉(裏)

撮影日：2020年05月13日

採取場所：大和郡山市郊外にて

撮影者：Mさん



大和郡山市郊外の道路脇で見かけました。草むらのなかに、一株だけでした。どこからか、種子が飛散し発芽したものだと思います。

5月から9月にかけて、茎の上部の葉の脇に直径1～1.5cmほどで薄紅色の4弁の花をつけます。花弁には紅色の脈があり、中心部は黄緑色です。やや紅を帯びた白色の葯を付ける雄蕊が8本あり、雌蕊の先端は紅色で4つに裂け、十字状になります。

草丈は20～60cm程度で、茎は地面付近から株立ち状に立ち上がります。葉は茎に互い違いについている互生で、長さ2～5cmほどの披針形。縁は波打って、鋸歯は不明瞭のようです。

和名の由来は、午後遅くに開花して、艶っぽい花色を持つことからとされているようですが、現在では昼間でも咲いています。白花種もあり、赤花種と同じアカバナユウゲショウと呼ばれているそうです。今回の写真は、午前10時ごろ撮影したものです。

オシロイバナ(白粉花)の通称も「夕化粧」で紛らわしいためアカバナユウゲショウ(赤花夕化粧)と呼ぶこともあるそうです。日本では、明治時代に観賞用として移入されたものが日本全国に野生化し、道端や空き地でもよく見かけられるそうです。